



青森駅前広場北側出口（昭和30年代前半）

青森の風土と人

鎌田清衛写真展

令和2年

会期

9月4日(金)～10月18日(日)

開館時間 9:00～18:00

青森県立郷土館 大ホール

〒030-0802 青森市本町二丁目8-14
電話 017-777-1585 FAX 017-777-1588

会期中
無休

料金	一般	310円 (250円)
	高校・大学生	150円 (120円)

※()内は20名以上の団体料金。中学生以下は無料。障がいのある方、老人福祉施設に入所の方は観覧料免除。上記金額で常設展示もご覧になれます。

青森県立美術館・三内丸山遺跡センターのチケット半券
ご呈示で団体料金適用（当日限り）

《土曜セミナー》

9月12日(土) 13:30～15:00

「鎌田清衛氏の写真について」

佐藤 良宣（当館学芸員）



村の獅子舞（1968年アサヒペンタックス「日本の祭典」写真コンテスト金賞）

主催：青森県立郷土館

共催：東奥日報社

後援：青森県写真連盟



HP



ブログ

青森の風土と人

鎌田清衛写真展

鎌田清衛は、津軽を中心とした青森県の農村・漁村の風土とそこに暮らす人々の姿を数多く撮影した写真家です。県内外のコンテストでの受賞作を多数持ち、青森県文化賞などを受賞、青森県写真連盟会長を務め、県内のアマチュア写真界の中心的人物でした。

また、半世紀以上にわたって撮りためられた彼の作品のなかには、1968年の十勝沖地震による青函連絡船青森棧橋の被害の様子を記録した写真など、貴重な歴史資料としての価値を併せ持つものも少なくありません。

本展では、個展「津軽断章」をはじめとした各種展示会への出品作・コンテスト受賞作に加え、往年の青函連絡船と青森駅の姿、県内の民俗行事など、ふるさとの風土と人をとらえた写真を紹介します。

第1章 写真家鎌田清衛

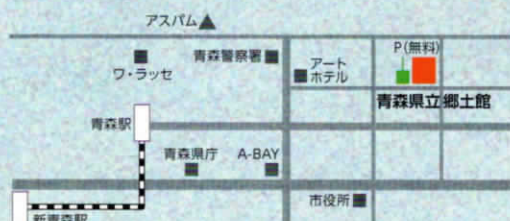
1950年代の青森市では、複数の写真愛好家団体が活発に活動していた。そのひとつである北陽会に参加した鎌田は、後にプロの写真家として東京で活躍する小島一郎と出会い、彼の津軽での撮影に同行するようになった。また、鎌田はその頃から数多くの写真コンクールで入賞している。ここでは、その頃の入賞作品を中心に紹介する。



津軽の夜の旋律



分校の子ともたち



第2章 鎌田が切り取ったふるさとの姿

個展「津軽 土と人」「津軽断章」「津軽風韻」の作品と、それ以降の展示会に出品した作品を紹介する。



餅まきの日「津軽土と人」より



芦屋1986「津軽断章」より

第3章 ふるさとの記憶



鎌田が撮影したなつかしいふるさとの姿をはじめ、昔の生活や習俗、歴史的な出来事、民俗行事等の写真を紹介する。

1968年十勝沖地震で被災した青森棧橋待合室



青森駅安方岸壁から連絡船初代大雪丸を見る一団

- ・JR青森駅より徒歩約20分
- ・市営バス(国道経由)市役所前またはNTT青森支店下車 徒歩約8分(新町経由)新町二丁目下車 徒歩約8分
- ・市バス(青柳線)本町二丁目または本町五丁目下車 徒歩約1分
- ・無料駐車場 西側駐車場 26台
北側駐車場(車いす利用者専用) 3台

郷土館HP <https://www.kyodokan.com>

